

このトイレのすごいところを教えてください!

ケニアの孤児院に新設されたトイレの使い方や機能を紹介するLIXILのプロジェクトメンバー。

Republic of Kenya



ケニア

国名：ケニア共和国



新たな技術が貢献

トイレ環境の改善が 人々の暮らしを救う

ケニアでは劣悪な排泄環境が人々の生活に大きく影響している。この問題の解決に向けてJICAはLIXILと連携し、その土地や環境に適したトイレの普及・衛生向上に関する実証実験を行ってきた。

案件名

非都市部における水資源保全と衛生環境改善のための循環型無水トイレシステム普及促進事業
2014年4月～2016年4月
都市部における水資源確保と水環境改善のための超節水型トイレシステム普及促進事業
2015年11月～2017年5月

これからも私たちは世界の衛生課題の解決へ向けて活動していきます。



LIXIL SATO事業部 Head of Market Expansion
坂田 優(さかた・すぐる)さん

トイレ普及事業の先駆者 LIXIL

「パートナーシップを通じて、2025年までに1億人の人々の衛生環境を改善し、生活の質向上につなげる」という目標を設定している。また途上国でのトイレの普及に向けてJICAとも事業を展開。これまでに同社が開発した簡易式トイレシステム「SATO」は世界38か国以上に約380万台を出荷し、1,860万人の衛生環境を改善している。

SATOとは?



同社が開発した簡易式トイレシステム。設置が簡単で少量の水で洗浄可能であり、排泄物を流すと閉まる弁が、病原菌を媒介する虫や悪臭を低減する仕組みになっている。シンプルな構造で安価。現地で購入できる。

左：事業終了後は、ケニアのカロバエイ難民居住地などでも普及活動を行った。右：覚書を交わした際の様子。JICA理事長・北岡伸一(左)と、LIXILグループ代表執行役社長 兼 CEOの瀬戸欣哉さん。

ケニアでは人口の約半数近くの人々が、いまだに劣悪な環境で排泄を行っている。ナイロビなど都市部の水洗トイレの普及率は約50パーセントだが、都市から外れた地域や農村部では穴があるだけの伝統的な汲み取り式トイレの使用や、屋外で排泄する人も多い。こうした排泄環境は地下水の汚染や衛生環境の悪化につながる懸念がある。利用可能な水源が少なく水道の設備が整っていないケニアでは、水は貴重な資源であり、水資源の保全も課題になっている。

そこでJICAは日本の水回りと住宅建材メーカーのLIXILと連携して、新たなトイレシステムと連携して、新たなトイレシステム

ケニアでは人口の約半数近くの人々が、いまだに劣悪な環境で排泄を行っている。ナイロビなど都市部の水洗トイレの普及率は約50パーセントだが、都市から外れた地域や農村部では穴があるだけの伝統的な汲み取り式トイレの使用や、屋外で排泄する人も多い。こうした排泄環境は地下水の汚染や衛生環境の悪化につながる懸念がある。利用可能な水源が少なく水道の設備が整っていないケニアでは、水は貴重な資源であり、水資源の保全も課題になっている。

そこでJICAは日本の水回りと住宅建材メーカーのLIXILと連携して、新たなトイレシステム